

2021年11月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

11月の「生活自由度」は、2か月連続で増加。 調査開始以来、最も高い61.9点に

株式会社博報堂(本社-東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2021年11月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は11月4~8日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査前の状況】10月初旬に全国で千人前後、東京で百人前後まで減少した新規感染者はさらに減少を続け、11月1日には今年最少の水準に(全国75人、東京9人、大阪7人、愛知5人など)。重症者も減少し、医療の逼迫状況も改善。10月25日、関東・関西5都府県では、飲食店に対して、酒類提供制限や営業の時短要請を緩和。11月からは27都道府県で行われていた大規模イベントの入場者数規制も一部緩和に。第6波への懸念はありつつも、飲食や旅行などのサービスに回復の兆しが見られはじめた中での調査です。

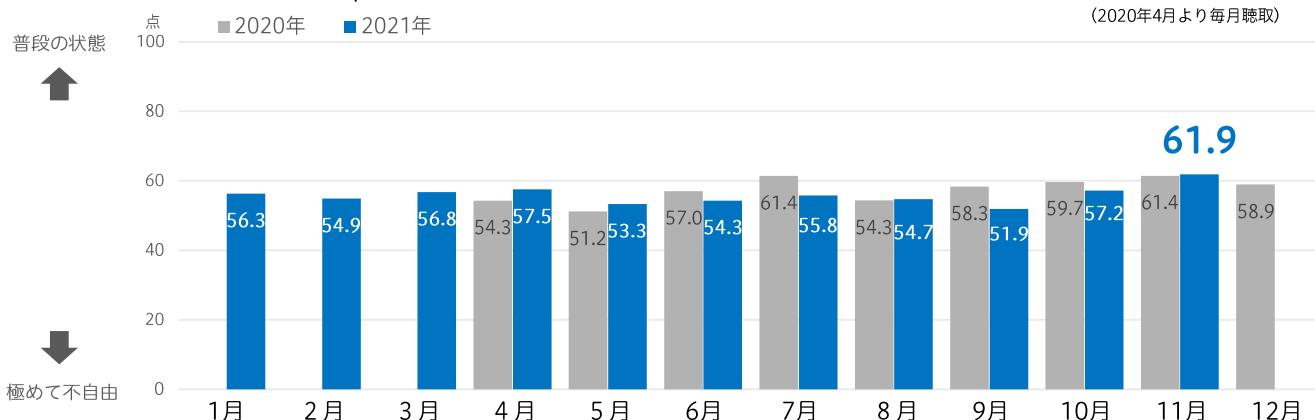
新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

2021年11月は、61.9点

前月差
+4.7pt

前年同月差
+0.5pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかをきいたところ、2021年11月は61.9点となりました。2か月連続で増加し、調査を開始した昨年4月以来、最高の数値となりました。前年同月との比較でも0.5pt上回っています。



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】は多くの項目で前月より減少。「行政の対応」(65.3%、4.9pt減)、「自分や家族の健康」(64.4%、3.6pt減)が目立ちます。【行動の抑制度】は全項目で減少。「外食」(67.8%、10.6pt減)、「交友・交際」(69.9%、8.6pt減)など。【行動の実施度】では「家の中でできる娯楽」(63.1%、6.7pt減)、「テレワーク」(有職者ベース、28.2%、5.1pt減)などが減少。一方「感染対策を徹底している店や施設の利用」(58.6%、2.7pt増)などは増加しています。

		回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差
【不安度】 感じている不安	行政の対応	65.3%	- 4.9pt	- 1.2pt
	自分や家族の健康	64.4%	- 3.6pt	- 1.8pt
	人づきあいの変化	41.0%	- 3.2pt	- 2.5pt
【行動の抑制度】 控えている行動	外食	67.8%	-10.6pt	+ 5.9pt
	交友・交際	69.9%	- 8.6pt	+ 3.6pt
	不要不急の外出	71.7%	- 8.2pt	+ 1.0pt
【行動の実施度】 行っている行動	家の中でできる娯楽	63.1%	- 6.7pt	+ 3.9pt
	テレワーク (有職者ベース)	28.2%	- 5.1pt	+ 1.5pt
	感染対策を徹底している店や施設の利用	58.6%	+ 2.7pt	(聴取なし)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

11月の「生活自由度」は、2か月連続で増加。調査開始以来、最も高い61.9点に

10月は新規感染者、重症者ともに減少を続けました。関東・関西5都府県では、25日に飲食店への酒類提供制限や営業の時短要請を緩和。27都道府県で行われていたイベントの入場者数規制も11月から一部緩和に。第6波への懸念はありつつも、生活自由度は先月に引き続き大きく増加しました。

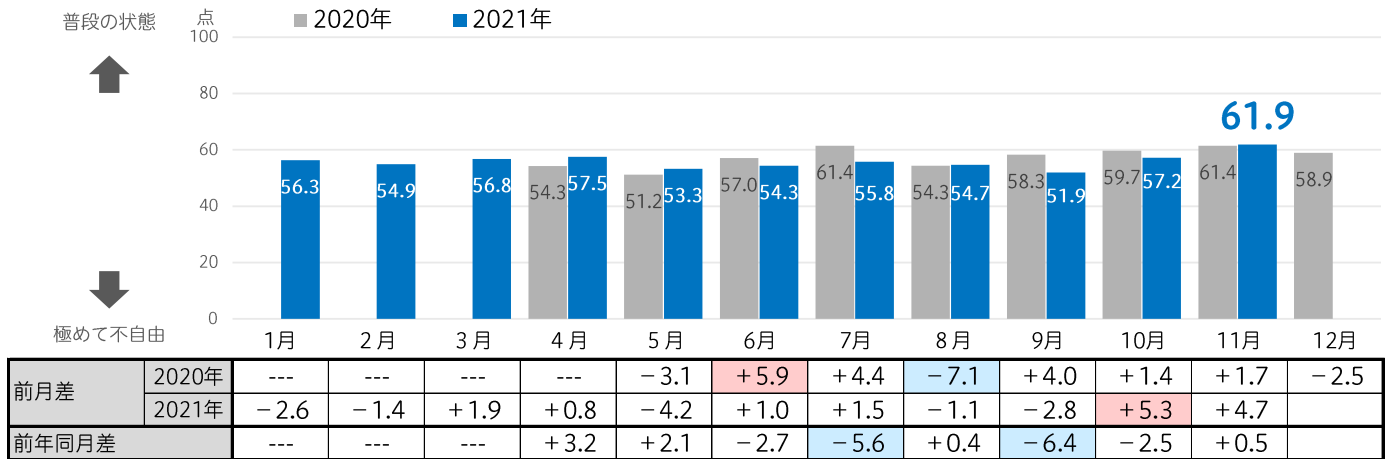
回答理由には、緊急事態宣言の解除やワクチン接種の進展に加え、感染防止をふまえた生活行動の定着と自信があがる

生活自由度の高い層からは、「不要不急で外に出なくても生活できる便利な世の中」への変化や、「自宅勤務など新しい行動様式への慣れ」の上に、緊急事態宣言の解除、ワクチン接種の進展、感染者数の減少が重なって、落ち着きと行動の自由を取り戻しつつある、との声があがります。生活自由度が中程度の層からも同様に、宣言解除やワクチン接種の進展、感染者減を踏まえ、「危機感が多少減少」しており、イベント参加や外での飲酒など生活行動が徐々に戻りつつあるとの声があります。とはいえまだ油断はできず、これから人流が増えれば感染リスクも高まるので「我慢を続ける」との声もみられます。

生活自由度の低い層からは、収入減などの経済的制約や、子どもがいるため「少しの体調不良でも自由に出かけられない」などの声があります。また、「最近の極端な感染者減は嵐の前の静けさ」「まだまだ油断できない」など、感染に対して強い警戒感を持つ声もみられます。

生活自由度

(単位：点 / 差分：pt)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

生活自由度の理由(一部抜粋)

高 (61点以上)	外出する機会は減ったが、不要不急で外に出なくても生活できる便利な世の中だから。家庭で過ごす時間が増えたが、大切な時間になっているから。	100点	23歳女性・大阪府
	ワクチン接種も終わり、徐々に活動も元に戻つつあるが、いまだ外食や長距離の旅行はためらう部分がある。完全に100点になるにはもう少し時間がかかりそうなので、この点数にしました。	80点	34歳男性・大阪府
	緊急事態宣言も解除となり、少人数であれば居酒屋でお酒も飲める。マイナス20点分は、海外旅行の不自由さ、大人数での宴会自粛などです。	80点	59歳男性・千葉県
	在宅勤務ができるなど新しい行動様式にも慣れ、さらに最近感染者数の激減で、大好きな旅行ができそうだから。	70点	50歳男性・東京都
	最近、感染者数も減少し、緊急事態宣言も解除され大分落ち着いてきているが、まだまだ油断はできない。コロナ終息までまだ数年かかりそうだし、レジャーなどは控えているから。	70点	62歳女性・三重県
中 (41~60点)	ワクチンの普及で全国的に感染者が減ったここ数週間で、心身共に危機感が多少減少した。少しずつではあるがコロナ前の状態に戻りつつある現状と期待感で日々生活出来るようになったが、まだまだ油断は出来ないで、これぐらいの数値かと。	60点	53歳女性・大阪府
	ありがたいことにいいところに転職できて仕事もある。収入も、転職による多少の減少はあるが、さほど変わっていないので。また、ライブやイベントがのきなみ中止になったり、人数制限で今まで以上にチケットが取れないことが続いていたが、それも徐々に戻ってきているので。ただ、仕方ないと思うが、マスクの煩わしさ、感染者の状況などに振り回される世の中が不安になったり、我慢が増えたりするのがいやだ。	60点	38歳女性・愛知県
	新規感染者数がかなり減少しているため、かつて行われていた活動が復旧できるようになってきた。しかし、まだ完全に収束したわけではなく、また近く爆発的感染が発生しないかどうか非常に不安である。	50点	28歳男性・千葉県
	緊急事態宣言が解除され、お店でお酒が飲めるようになり、少し以前に戻りつつあることで気持ちも安定してきたように感じるから。	50点	47歳女性・大阪府
	我慢をしていた人たちが、これから一斉に動き出しそうなので、それが一段落するまでは今の我慢の生活を続けるつもりだから。	50点	68歳女性・東京都
低 (40点以下)	まだまだ外出を減らしている状態なので。土日は都心へ行かないようにしている。	40点	37歳女性・神奈川県
	ここ最近の極端な感染者数の減少が、嵐の前の静けさのように感じる。	30点	64歳男性・兵庫県
	まだまだ油断できない状況だと思う。海外旅行などもってのほかだし、マスクを外すことも考えられない。しかしお店の営業は戻ってはきている。まあ、元の状態を目指す必要もないとは思っているが。	30点	53歳女性・神奈川県
	少しの体調不良でも、学校や幼稚園を休ませなければならず、そのお親に負担がかかったり、家族で自由にでかけられない。感染の恐怖があり、のびのび楽しめないから。	20点	41歳女性・愛知県
	仕事も減って残業できないため、お金も苦しい。友達とも思うように会えなくてストレスしか溜まらない。	0点	30歳女性・三重県

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】は多くの項目で前月より減少。前年同月との比較ではすべての項目で減少

前月からの減少では、「行政の対応」(65.3%、4.9pt減)、「自分や家族の健康」(64.4%、3.6pt減)など。「海外の情勢」(59.8%、2.3pt増)などは増加。

前年同月比較では、「海外の情勢」(59.8%、10.2pt減)で減少が大きく、「経済の停滞」(72.2%、5.1pt減)が続いています。

【行動の抑制度】は前月からすべての項目で減少。大きく減少した項目が多い。ただほとんどの項目では前年同月より高い

前月比では、「外食」(67.8%、10.6pt減)、「交友・交際」(69.9%、8.6pt減)、「不要不急の外出」(71.7%、8.2pt減)など、減少幅の大きい項目が多いです。

ただまだほとんどの項目で前年同月よりは高く、特に「外食」(67.8%、5.9pt増)、「旅行・レジャー」(75.9%、3.7pt増)などは抑制度が高い状態です。

【行動の実施度】は前月比では家の中での行動項目の減少が目立つ

「家の中でできる娯楽」(63.1%、6.7pt減)、「テレワーク」(有職者ベース、28.2%、5.1pt減)などは減少。一方「投資や資産運用」(28.4%、3.0pt増)、「お店・団体の支援」(19.8%、3.0pt増)、「感染対策を徹底している店や施設の利用」(58.6%、2.7pt増)などは増加しています。

収束後に取り組むと思う行動[予想]…[実態]より[予想]が高いのは、「人が密集しない屋外でのレジャー」(+10.7pt)、「SNSの閲覧・投稿」(+10.5pt)。

生活意識・行動

【不安度】

	[実態] 感じている不安				
	21年9月	21年10月	21年11月	前月差	前年同月差
経済の停滞	76.5	72.5	72.2	-0.3	-5.1
行政の対応	79.0	70.2	65.3	-4.9	-1.2
自分や家族の健康	70.8	68.0	64.4	-3.6	-1.8
海外の情勢	66.9	57.5	59.8	+2.3	-10.2
自分や家族の仕事・収入	57.3	57.1	57.9	+0.8	-3.8
情報の不足や不確かさ	66.4	57.7	57.4	-0.3	-3.7
人づきあいの変化	48.9	44.2	41.0	-3.2	-2.5

(単位：%/差分：pt)

【行動の抑制度】

	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	21年9月	21年10月	21年11月	前月差	前年同月差	21年9月	21年10月	21年11月	前月差	前年同月差	
人とのボディタッチ (握手やハグなど)	84.4	77.8	76.9	-0.9	+2.2	65.4	64.9	67.9	+3.0	+3.8	-9.0
旅行・レジャー	85.7	83.6	75.9	-7.7	+3.7	50.3	54.1	53.5	-0.6	+2.8	-22.4
不要不急の外出	83.5	79.9	71.7	-8.2	+1.0	58.1	59.7	61.8	+2.1	+4.9	-9.9
体験型エンタメ (ライブ・観劇・映画鑑賞など)	82.0	76.2	70.1	-6.1	-0.4	53.5	54.0	54.5	+0.5	+1.3	-15.6
交友・交際	81.9	78.5	69.9	-8.6	+3.6	52.9	55.6	53.3	-2.3	+2.3	-16.6
外食	78.7	78.4	67.8	-10.6	+5.9	50.8	54.1	52.8	-1.3	+3.4	-15.0
不要不急の買い物	77.0	71.8	64.3	-7.5	+2.0	56.1	56.5	56.9	+0.4	+2.2	-7.4

【行動の実施度】

	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	21年9月	21年10月	21年11月	前月差	前年同月差	21年9月	21年10月	21年11月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底 (マスク着用や手洗いなど)	93.4	91.9	91.3	-0.6	-0.5	82.4	85.0	86.5	+1.5	+2.8	-4.8
十分な運動・栄養・睡眠	78.2	72.8	75.2	+2.4	-1.2	83.1	80.7	84.6	+3.9	+2.7	+9.4
感染対策商品や日用品の備蓄	71.2	68.5	68.9	+0.4	+3.6	70.7	67.9	71.3	+3.4	+3.5	+2.4
キャッシュレスでの支払い	65.3	62.6	63.4	+0.8	+4.9	68.5	65.4	67.0	+1.6	+3.9	+3.6
家の中でできる娯楽	74.4	69.8	63.1	-6.7	+3.9	60.0	57.5	57.7	+0.2	+1.6	-5.4
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	67.8	60.6	61.5	+0.9	---	58.4	54.7	58.7	+4.0	---	-2.8
感染対策を徹底している店や施設の利用	63.2	55.9	58.6	+2.7	---	58.5	57.0	61.4	+4.4	---	+2.8
自分で料理する	61.1	57.2	55.0	-2.2	+2.6	64.7	61.9	63.8	+1.9	+0.9	+8.8
スマホやパソコンなどでのゲーム	52.7	49.5	47.2	-2.3	+1.1	49.4	47.3	48.1	+0.8	+1.5	+0.9
ストリーミングサービスの利用 (動画や音楽など)	49.9	49.1	47.1	-2.0	+4.4	51.5	47.9	49.9	+2.0	+3.0	+2.8
自家用車での移動	53.7	47.2	47.0	-0.2	-0.1	49.6	45.7	45.9	+0.2	+1.1	-1.1
人が密集しない屋外でのレジャー	42.5	41.9	44.2	+2.3	+3.0	54.1	52.2	54.9	+2.7	+3.4	+10.7
インターネット通販や出前の利用	51.1	46.5	42.3	-4.2	+4.7	47.2	44.3	43.1	-1.2	+3.0	+0.8
人が密集しない屋外での運動	41.6	40.5	42.1	+1.6	+3.8	47.8	46.8	48.9	+2.1	+2.8	+6.8
家の中でできる運動	46.5	45.1	41.9	-3.2	+1.6	51.3	50.3	51.7	+1.4	+1.2	+9.8
SNSの閲覧・投稿	41.7	39.1	40.7	+1.6	+4.9	47.5	46.2	51.2	+5.0	+4.7	+10.5
時差通勤・時差通学	38.5	36.1	33.8	-2.3	+0.1	39.5	37.4	40.5	+3.1	+3.7	+6.7
副業 (検討含む)	29.5	29.5	31.1	+1.6	+4.0	31.3	33.1	32.1	-1.0	+3.0	+1.0
家の環境充実 (通信環境整備や家電購入など)	31.3	29.9	30.9	+1.0	+2.6	38.1	35.8	39.6	+3.8	+3.1	+8.7
投資や資産運用	28.3	25.4	28.4	+3.0	+7.9	37.0	36.1	37.0	+0.9	+5.8	+8.6
テレワーク ※有職者ベース	32.0	33.3	28.2	-5.1	+1.5	31.4	32.7	31.3	-1.4	+4.1	+3.1
普段より少し良いものを買う	30.0	29.1	28.2	-0.9	+6.8	32.9	30.3	32.9	+2.6	+3.2	+4.7
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	25.1	23.5	26.1	+2.6	+6.4	28.2	27.4	29.1	+1.7	+4.3	+3.0
モノを手作りする (手芸、リフォーム、DIYなど)	26.8	27.0	25.3	-1.7	+0.4	34.9	32.6	34.0	+1.4	+2.1	+8.7
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	25.6	22.8	24.9	+2.1	+5.4	29.3	25.7	30.2	+4.5	+5.3	+5.3
就職・転職・起業 (検討含む)	22.0	23.9	24.9	+1.0	+2.1	26.5	26.9	27.7	+0.8	+3.7	+2.8
お店・団体の支援	19.7	16.8	19.8	+3.0	+2.2	23.8	21.4	24.5	+3.1	+0.7	+4.7
転居やリフォーム、複数拠点での生活 (検討含む)	17.1	16.0	17.8	+1.8	---	22.7	20.3	23.4	+3.1	---	+5.6
オンラインでの飲み会・食事会	19.9	17.7	17.5	-0.2	+2.2	19.5	18.3	19.5	+1.2	+2.8	+2.0
オンライン学習	20.7	19.1	17.5	-1.6	+0.7	25.5	23.3	23.9	+0.6	+2.1	+6.4

■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態] ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

[※有職者]
2021年11月 :1,104人
2021年10月 :1,092人
2021年 9月 :1,072人

新型コロナウイルス収束後の行動[予想] ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次に挙げるような行動をしたいと思いますか。
それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域 ①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県)
②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県)
③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)

調査対象者 20~69歳の男女

対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

調査人数 合計1,500人

<2020年4月~2021年3月>							<2021年4月~>						
	20代	30代	40代	50代	60代	合計		20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755	男性	122	143	187	169	136	757
女性	119	141	185	158	142	745	女性	118	139	183	164	139	743
合計	241	286	375	319	279	1,500	合計	240	282	370	333	275	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2021年11月4日(木)~8日(月)(2020年3月から調査開始/毎月月上旬に調査実施)

企画分析 博報堂生活総合研究所

実施集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き ※感染者数の出典：関連ホームページ(厚生労働省、NHK、東京都 それぞれ11/16時点)

<2020年>

- 4月 7都道府県で「緊急事態宣言」が発出(5/6まで)
緊急事態宣言を全国に拡大
- 5月 緊急事態宣言が解除(39県、後に大阪・兵庫・京都)
1都3県含む47都道府県すべてで解除
- 6月 東京で警戒情報「東京アラート」が発動
- 9月 東京でGoToトラベルの予約開始
- 10月 GoToイートの予約開始
- 11月 GoToトラベルの一時停止を首相表明
東京や大阪を含め10都道府県でGoToイート中斷
- 12月 GoToトラベルが一時中止(東京、後に全国)

<2021年>

- 1月 緊急事態宣言が再発出(1都3県、後11都府県に拡大)
- 2月 緊急事態宣言、3月7日まで延長が決定
- 3月 大阪・兵庫・京都で同宣言解除、3/21に1都3県解除
- 4月 まん延防止等重点措置の適用が順次拡大
緊急事態宣言、東京・大阪・兵庫・京都に、3度目の発出
- 5月 緊急事態宣言の継続、拡大、延長(愛知・福岡追加)
高齢者へのワクチン接種進む
大規模接種センター開設(東京・大阪)
- 6月 緊急事態宣言、沖縄を除き解除
7都道府県はまん延防止等重点措置へ移行、3県は継続

<2021年>

- 7月 緊急事態宣言、東京に4度目の発出後、首都圏3県と大阪に拡大
東京五輪開幕
 - 8月 まん延防止等重点措置も北海道・石川・京都・兵庫・福岡に適用
新規感染者が全国2万5千人超、東京で5千人超を記録
緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)、9月末まで延長
東京パラリンピック開幕
 - 9月 新規感染者の減少 月初の2万人台が中旬には6千人規模に、下旬には千人を下回る日も
重症者の減少 初旬2千人超で過去最多を更新後、減少を続け月末には千人を下回る
ワクチンの2回接種者が全人口の5割を超える
緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)が全面解除(9/30)
都は感染警戒レベル1段下げ(9/30)
- <今回の調査時点までの詳細>
- 10月7日 東京都、医療体制の警戒レベルと感染状況の警戒レベルを1段階引き下げ
 - 10月11日 新規感染者数は全国285人。300人台を下回る。東京は49人
 - 10月18日 新規感染者数は全国178人。東京は29人、大阪29人、愛知10人
 - 10月25日 1都3県と大阪の5都道府県で、飲食店への酒類提供と営業の時短要請を緩和
 - 10月28日 ワクチン3回目接種、厚労省は12歳以上全員対象とする方針を発表
 - 11月1日 沖縄県で続けられていた飲食店への営業時短要請を解除
新規感染者数は全国75人。100人以下は昨年6月以来で、東京は9人、大阪7人
27都道府県で続いていた、大規模イベントの1万人の人数上限制限を撤廃
東京都、LINEを使った接種証明サービスを開始

<備考>

- ・本調査は当面実施し、毎月第3~4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。
- ・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。
<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/>

【本件に関するお問い合わせ】 株式会社博報堂 広報室 玉・大野 koho.mail@hakuhodo.co.jp 03-6441-6161